

公益社団法人長岡法人会長賞

みんなで支える社会と税

長岡市立岡南中学校

三年 須田 梨愛

私たちの生活の中には、税が関わっていることがたくさんあります。けれど、普段はあまり意識することがありません。ニュースで「税金」という言葉を聞くと、大人が払うものだと思ってしまいがちです。私は中学生なので、まだ税を納める立場ではありませんが、授業で学んだことや調べたことから、税は私たちの暮らしを守る大切な仕組みだと感じました。

まず、税は学校に深く関わっています。校舎の建設や修理、教科書や机など、学ぶために必要なものには税金が使われています。私たちが安心して勉強できるのは、多くの人が納めた税のおかげです。毎日使っているものの背景に税があると考えると、当たり前に思っていた環境があるがたいものと気づきます。また、税は医療や福祉にも使われています。病気やけがをした人が安心して病院にかかれるのは税で支えられている制度があるからです。高齢の人や小さな子どもたちが安心して暮らせるように、社会全体で助け合う仕組みになっているのです。私はこのことを知って、税は「自分のため」だけでなく、「みんなのため」にあるのだと感じました。

さらに、災害のときにも税は大切な役割を果たします。日本は地震や台風などの災害が多い国です。被害が出たときにすぐに支援や復旧が行われるのも、税金があるからです。税は「もしものときの安心」につながっているのだと思います。

このように、税は社会のさまざまなところで使われています。私たちが毎日安全に暮らせるのは、みんなで少しずつ負担を分け合っているからです。私は税を「社会全体で出し合う会費」のようなものだと考えるようになりました。

しかし一方で、税は限りあるお金です。だからこそ、無駄に使われてはいけません。ニュースなどで、税の使い道についての議論を見たことがあります。私は、税は一人ひとりが納める大切なお金だからこそ、しっかりと必要なところに使われるべきだと思います。中学生の私にできることは限られています。社会の仕組みに関心を持ち、正しい使い方がされているか考えることは大切だと思います。

これから私は大人になり、やがて税を納める立場になります。そのときは「自分のお金が社会の役に立っている」と考えながら納めたいと思います。そして、未来の子どもたちや地域の人々が安心して暮らせる社会をつくる一員になりたいです。

税は、ただお金を集めるものではなく、みんなで支え合い、未来を守るための大切な仕組みです。目に見えにくい存在ですが、自分の未来にもつながっていて、確かに私たちの生活を支えていることが分かりました。私はこれからも税の役割について学び、社会の一員として責任を果たしていきたいです。